



ティラノサウルスの頭骨。アメリカのサウスダコタ州で掘り出されたもの

夏は日本各地で恐竜展が開かれます。岡山ではコンベックス岡山(岡山市北区大内田)でロボット恐竜展、人と科学の未来館サイピア(同伊島町)で恐竜発掘の展示、高梁市の成羽美術館(高梁市成羽町下原)で「ティラノが成羽にやってきました!」が開催中です。

先日、成羽美術館で展示の解説をしてきました。成羽美術館のモダンな建築とティラノサウルスは合うのかな? と少し不安でしたが、何と空間と骨格がぴったりなのに驚きました! まるで骨が私に語りかけてくるようです。あらためて、生物骨格は自然が作り出した芸術品で、空間がそれを引き立てていると思いました。

ところで、恐竜展ではさまざまな化石やロボット恐竜を展示

恐竜調査隊が行く

岡山理科大学教授・石垣忍

誰かが掘ったからここにがあるー各地で恐竜展

今年もモンゴルで発掘



モンゴル科学アカデミーの研究者と一緒に恐竜の骨を発掘する岡山理科大学の学生と教員

します。それを見ることは大変楽しいことですが、それらがどこから来たのかをぜひ皆さんに考えていただきたいと思えます。骨は誰かが掘ったからそこにあるのです。ロボットは誰かが化石をもとに復元の研究をしたからそこにあります。化石は世界各地で発掘されたものです。発掘という現場での大変な

仕事があつて、やっと博物館で展示されるんですよ。

野外調査や発掘なしでは学問が成り立ちません。だから私たち古生物学者は夏になると砂漠や山へ出かけていきます。今年も岡山理科大学・モンゴル共同調査隊はゴビ砂漠で1カ月の調査を行います。皆さんも期待していただくさいね。



竜脚類の大腿骨。アメリカのユタ州で掘り出されたもの

豆知識

「恐竜発掘隊って何人ぐらい?」とよく聞かれます。岡山理科大学一モンゴル英高調査隊は10~30人ぐらいです。両国の古生物学者・地質学者・化石技師と学生、そしてモンゴルの運転手やコックが参加します。



岡山理科大学の恐竜調査が分かる動画(約32分)公開中。
<https://youtu.be/6f1-kvCh9LY>